

学校長挨拶

本校は、福山市の北部に位置し、1988年（昭和63年）に福山市立駅家中学校から分離独立し、現在の地に誕生しました。現在、全校生徒は490名、18学級（うち特別支援学級4学級）の中規模校です。

福山市の目指す子ども像である「福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども」の育成を達成すべく、駅家南中学校区としての「育成すべき力（21世紀型“スキル&倫理観”）」を定め、児童・生徒の9年間（小中一貫教育）を通じてその実現に向けた取組を行っているところです。

本校の『学校教育目標』は、「自立して社会に貢献できる生徒の育成」です。自立貢献ができる生徒とは、次の3つの力や心がけを身に付けた生徒と考えています。

一つ目は、「コミュニケーション能力」です。人は常に誰かと生きていく存在です。他者と良好な関係を築くことができる力こそが人生の幸せに繋がると考えています。自分の考えや意見をしっかりと持ち、相手のことを理解し、受け入れながら折り合いをつけていく力は、生きていくために大切なスキルです。

二つ目は、「協調性」です。一人一人、皆、個性がありますが、その個性の違いを認め合いながら、誰とでも協力して頑張っていく力です。本校では、教科の授業や学校行事、特別活動の活動において、生徒自ら課題解決に取り組みながら、みんなで達成する感動や喜びを実感できる教育課程を目指しています。

三つ目は、「思いやり」です。学校生活のいろんな場面で見られるお互いの気配りや支え合いを当たり前のことと思わず、感謝し合うことが大切です。温かな人間関係は“頑張りの原動力”であり“基盤”です。本校ではPTAや家庭、地域の方々の協力を得ながら、校区全体で子どもたちの思いやりの心を育む環境を育てています。

生徒全員が学習や部活動、集団生活など、毎日を精一杯頑張る、充実させることで、仲間とともにこれらの力を育み、伸ばしてもらいたいと願っております。大きく成長できる“中学時代”としてください。

保護者・地域の皆様には、これまで同様に本校教育活動へのご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

福山市立駅家南中学校 校長 皿谷 修